

動かしてみようLW

(基本操作 説明)



この操作説明書は、取扱説明書を読んでから使用して下さい。

また、この操作手順の説明は電源投入後の操作説明です。

(写真は LW75-151QV7A です。各キーの状態は出荷時の状態で説明しています。)

基本操作

放電モードと値を設定します。

PRESET 1 の CH-A に電流レンジ High の定電流モード、10.00A を設定し本機に記憶させ操作します。

A) 放電モードを設定します。

LW の「POWER」を ON します。

① 放電モードの設定を「PRESET 1」キーに記憶させるため、まず選択します。

② 「STATUS」キーを押して表示部を「FAct」にします。

表示部が「FAct」になったら、電圧/電力表示部が「IIodE」になるまで

③ エンコーダを回します。

④ 電圧/電力表示部が「IIodE」になったら「STATUS」キーを押します。

⑤ 次に「CH-A」キーを選択しエンコーダで「H-cc」を選択します。

表示文字	放電モード
H-cc	電流レンジ High の定電流(CC)モード
L-cc	電流レンジ Low の定電流(CC)モード
H-cr ※	電流レンジ High の定抵抗(CR)モード
L-cr ※	電流レンジ Low の定抵抗(CR)モード
H-cV ※	電流レンジ High の定電圧(CV)モード
L-cV ※	電流レンジ Low の定電圧(CV)モード
HcPL ※	電流レンジ High、電圧レンジ Low の定電力(CP)モード
HcPH ※	電流レンジ High、電圧レンジ High の定電力(CP)モード
LcPL ※	電流レンジ Low、電圧レンジ Low の定電力(CP)モード
LcPH ※	電流レンジ Low、電圧レンジ High の定電力(CP)モード
SHrT	ショート

※は、放電モードを搭載してある場合に選択できます。

⑥ 操作後、「MEMORY」キーを操作して放電モード設定を記憶させます。

※記憶中は DISPLAY SELECT の全ての LED (CH-A,B,C,D) が点滅します。

これで放電モードの設定は完了です。

B) CH-A に電流値を 10.00A に設定します。

⑦ 「CONF」キーを押します。

⑧ 更に「VAL」キーを押すと最下位桁(出荷時設定)の値が点滅状態になります。

⑨ 次に桁移動を「DIGIT」キーで行い、可変させたい桁まで移動させます。

選択された桁の LED が点滅します。

⑩ エンコーダを回して 10.00A に設定します。

⑪ 「MEMORY」キーを押すと「PRESET」キーが点滅状態になります。

※同時に DISPLAY SELECT の CH-A,B,C,D LED も点滅します。

⑫ 「PRESET」キーが点滅状態のとき、記憶させる「PRESET」キーを押して本機メモリーに記憶させます。

⑬ 設定を行ったチャンネルの「INPUT/SW SELECT」キーが点灯していることを確認し、設定チャンネルの入力端子に電力供給源を接続し電力を印加します。

⑭ 「MAIN INPUT」キーを押すと設定された電流を引きます。

※MAIN INPUT を ON にすると「CONF」キーが消灯し、電圧/電力表示部に実際印加されている電圧が表示されます。

「VAL」キーを押して消灯させると表示部に実際の電流値が表示されます。

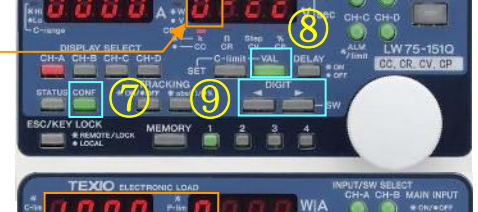
写真は 10.00A/0.100V の状態です。

※出荷時「INPUT/SW SELECT」キーの設定はすべて ON の状態です。



電圧/電力表示部

表示部



最下位桁

10.00A

10

13

12

14

CH-A に電流レンジ High の定抵抗モードで、設定値を抵抗値設定/ステップ値設定で記憶させて電流を流してみます。

まず、放電モードを H-CR モードにするため H-CC と同様に①→②→③→④の操作を行い H-CR にします。

- ⑮ 設定したいチャンネルを選択(写真では CH-A を選択)し、
 - ⑯ エンコーダを回し「H-cr」を選択します。
 - ⑰ 「MEMORY」キーを操作して放電モード設定を記憶させます。
- これで放電モードの設定は完了です。

定抵抗モードでは値の設定方法が 2 種類あります。

初めに抵抗値設定での設定方法を行います。CH-A に抵抗値設定で 500Ω に設定します。

抵抗値で設定する方法

- ⑱ 「CONF」キーを押します。(デフォルトでは 1kΩ です。)
- ⑲ 更に「VAL」キーを押して値の設定状態にします。

- ⑳ 点滅状態の桁を「DIGIT」キーで 0.1k (または 100Ω) の桁に合わせて 500.00Ω になるまで㉑ エンコーダを回します。

ステップ値で設定する方法

次はステップ値設定で 300Ω に設定します。

操作方法は、まず「CONF」キーを押し「VAL」キーを押し抵抗値設定モードに入ります。もう一度「VAL」キーを押すと「VAL」キーは点灯状態のまま、「Q」の赤色 LED が消灯し、「Step」の赤色 LED が点灯します。

表示が抵抗表示㉒「1.0000-cr」状態が STEP 表示「00003-cr」に切り替わります。(詳細は下記の補足説明を参照して下さい。)

「DIGIT」キーで必要桁に合わせて「00100-cr」になるまでエンコーダを回します。最後に「MEMORY」キーを押すと「PRESET」キーが点滅状態になります。この状態で記憶させたい「PRESET」キーを押し本体メモリーに記憶させます。

設定を行ったチャンネルの「INPUT /SW SELECT」キーの LED が点灯しているか確認し入力端子に電圧を印可し、メインインプットを押すと設定抵抗値で電流を引きます。(写真は 1A/30V)

『補足説明』

- ※ 表示される抵抗値は、 $\text{抵抗値} = 1 / (\text{理論分解能} \times \text{STEP 値})$ です。したがってステップ値はエンコーダを1クリック動かし設定値も1ずつ可変しますが、抵抗値は1クリックで1Ωずつ可変しません。
- ※ 抵抗値設定モードで 500Ω に設定した段階で、ステップ値設定モードの設定値は自動的に「6」になっています。逆にステップ値設定モードで「100」に設定すると、抵抗値モードは自動的に 300Ω に設定されます。
- ※ 理論分解能は機種とレンジ(High と Low)によって異なります。LW75-151Q の場合、上記設定は High レンジ「H-cr」なので理論分解能は 333 μS (ジーメンズ) になります。よって 500Ω のステップ値は 6 になり、同様に 300Ω の時にはステップ値は 100 となります。
 $500\Omega \approx 1 / (333 \mu S \times 6 \text{ ステップ})$ $300\Omega \approx 1 / (333 \mu S \times 100 \text{ ステップ})$

注意 ●正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」と「安全上のご注意」を良くお読みください。●「水、湿気、湯気、ほこり、油煙」等の多い場所に設置しないでください。「火災、感電、故障」などの原因となることがあります。●本機は背面吹出し口から高温の空気が排出されます。
 ●定格、意匠は改善のため予告なく変更する場合があります。●ここに掲載した製品写真は撮影上および印刷上の条件により、実際の色と異なる場合があります。

